

「進取の精神」に基づくあくなき挑戦と 誠実な企業活動をもって 皆様の信頼にお応えし、 快適で豊かな生活の実現に 貢献してまいります。

企業理念に基づき、社会への 責任を果たします

OKIは、1881年(明治14年)に創業した日本最初の通信機器メーカーである明工舎を前身とします。明治維新からまだ間もない頃、アメリカのグラハム・ベルが電話機を発明したわずか5年後に、明工舎は進取の精神をもってその国産化に挑戦し、成功いたしました。この創業以来の、未知へチャレンジする意欲を受け継ぐ企業理念“OKIは「進取の精神」をもって、情報社会の発展に寄与する商品を提供し、世界の人々の快適で豊かな生活の実現に貢献する。”は、OKIグループの考える企業の社会的責任(CSR)の根幹をなすものです。

商品・サービスを通じ、 社会に貢献します

OKIグループは、この理念のもと、商品・サービスを通して社会に貢献することを使命としてきました。今日ではキャリアの通信インフラや金融機関向けの営業店システム、中国をはじめ海外でも広くご利用いただいているATM、交通機関のチケット発券システムやチェックインシステム、その他さまざまな公共システムなど、社会のインフラを供給・維持する重要な

役割を担っております。これは社会のニーズの的確な把握、要素技術の研究・開発と商品化、製造技術の確立などとともに、お客様にご満足いただける品質を作り込み、ご提供し、保守体制を維持するという、「営業、技術、生産、保守一体」の活動の成果であると自負しております。

変化の激しい時代にあっても引き続きお客様、そして社会の期待にお応えしていくため、2010年4月にスタートした新中期経営計画においては、

- ・ 情報社会の発展に寄与する商品・サービスを提供する
- ・ 安定した収益を創出し、確実に成長する企業をめざす

の二つを経営方針に掲げました。この方針のもと、グループ連結経営への変革、モノづくりの強化、サービスビジネスの強化、そして特長ある技術をベースとした新規事業の創出に取り組み、皆様の快適で豊かな生活の実現に貢献してまいります。

グローバルな経営体制、 CSR推進体制の構築を推進します

OKIグループはグローバル企業として責任ある経営を推進するため、コーポレート・ガバナンスの強化に努めるとともに、CSRを果たすための体系を整備し、グループの全企業が

沖電気工業株式会社
代表取締役社長

川崎 秀一



共有すべき価値観である「OKIグループ企業行動憲章」、そして全役員・社員がとるべき行動の規範「OKIグループ行動規範」を定めて、国内外すべてのグループ企業に徹底を図っております。

さらに2010年5月には、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト」に加盟いたしました。グローバル・コンパクトの掲げる「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」にかかわる10の基本原則を支持し、これまで取り組んできたCSR活動をさらに強化することで、持続可能な社会づくりに貢献できるよう取り組んでまいります。

より良い地球環境の実現のため、 気候変動への対応と 化学物質管理に取り組めます

このような視点から、いまOKIグループが考える最も重要なCSRのひとつが、環境活動です。OKIグループは気候変動問題に対応し低炭素社会の実現に貢献すべく、グリーンITを推進するとともに、国内外の生産プロセスにおけるエネルギー使用効率の向上など、事業を通じた環境保全にも積極的に取り組んでおります。

一方、欧州のREACH規則をはじめ、各国において製品含有

化学物質の管理に対する規制が急速に高度化しており、企業の施策にもよりいっそうの具体性と実効性が求められています。OKIグループはこれらの規制に適合すべく、管理体制をいっそう強化するとともに、そこで得た知見を活かしてサービスを提供することで、お客様の的確な化学物質管理にも貢献してまいります。

OKIのブランドスローガン「Open up your dreams」は、企業理念に則ったOKIの使命をふまえ、OKIグループがステークホルダーの皆様提供価値を表現した、OKIブランドの約束です。ステークホルダーの皆様の想いを実現する、安心、安全な情報社会への扉を開くため、OKIグループは今後もCSR活動を着実かつ誠実に進め、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

この「社会・環境レポート2010」を通じ、一人でも多くのステークホルダーの皆様OKIグループの取り組みをご理解いただき、忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

2010年 6月